

事務事業名	木次経済文化会館管理運営事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課スポーツ文化振興室
政策名	〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉	所属G	スポーツ文化振興G	課長名	藤原 典裕
施策名	〈31〉地域文化の振興	担当者名	永瀬 玉緒	電話番号	0854-40-1073
目的・対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。	(内線)	2241
基本事業	〈091〉文化芸術の振興	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 5 0 0:1 項 目 中事業 中事業 2:5 1 0 1:1	事業名	社会教育施設管理事業
目的・対象	市民	意図	文化芸術活動に親しむ。	事業名	木次経済文化会館管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 市民 ② 市外の人	①文化芸術、伝統芸能に関する事業を企画し、市民が文化芸術活動に触れる機会の拡充を図る。 ②積極的にイベントの情報発信をすることにより市民の文化活動への理解関心を促す。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	指定管理対象施設 ・木次経済文化会館、大ホール・会議室ほか、RC造4F 3,086㎡ H4.5月建築 ・駐車場(3階・4階・屋上) 演劇や映画、文化展を特色とした文化・芸術活動の拠点施設として管理運営を行っている。 指定管理者 (株)キラキラ雲南
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①基本協定締結業務 ②年度協定締結業務 ③指定管理料支払事務 ④指導・協議業務 ⑤次期指定管理更新業務	平成24年度より文化施設3館の指定管理料に含まれていた自主企画事業費を文化事業企画運営業務として分離して委託した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 施設利用者数	人	15,160	11,863	24,574	25,000
イ 施設平均稼働率	%	42.4	54.0	59.9	60.0
ウ 文化芸術に親しんでる市民の割合	%	40.7	42.6	40.9	50.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
指定管理料51,810千円 事業委託271千円 賃借料61千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	52,142	52,143	52,142
※令和元年度より施設修繕については「文化施設修繕事業」へ移管	事業費計	千円	52,142	52,143	52,142	62,883
						62,883

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	基本協定に基づき、適切に管理を行っている。 施設の特長・特性を生かし、演劇や映画等の事業を実施している。 令和5年度に舞台音響設備の更新工事が完了し、今年度をもって大規模改修事業が終了した。
② 事業実施するうえでの課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用人数・件数が以前の状態までには回復していない。 また、光熱水費の高騰や人件費の増大が施設管理経費の大幅な上昇の要因となっている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	施設管理者と緊密な連携を取り、施設の維持管理を図っていく。